

# 新型コロナウイルス感染症対策

## ガイドライン

【収獲体験用】

令和2年7月

特定非営利活動法人 だいち

## 1. 目的

新型コロナウイルス感染症対策に関して、事態が終息に向かい各種規制等が緩和されてきているが、第2次感染の発生も懸念させる状況下で、当地区での観光事業の再開を行っていくことが求められる。

ワクチン接種等の根本的対策がなされるまでの間は、観光受入れに関し受け入れ事業者と観光客、そして地域の住民の健康と安全を最大限確保することが必要である。

観光産業に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを規定する。

## 2. 観光受入れ条件

観光受入れは次の3つの条件を満たしている場合とする。

- ・ 県内の緊急事態宣言が解除されている。
- ・ 長野県から休業の要請が出ていない。
- ・ 受け入れ側に感染者が出ていない。

## 3. 適用業態

それぞれの業態毎に施設やサービス内容に即した個別ガイドラインを作成し、観光受け入れに向けた感染防止対策を講じる。

- ・ 収穫体験
- ・ 観光案内

## 4. 適用期間

当予防策は日本国内において新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種等の根本的対策がなされ、正常な社会活動が営まれる状態になるまでとする。

なお、状況に応じて適宜本ガイドラインは見直すこととする。

## 5. 感染防止対策

### (1) 共通項目

#### <受け入れ側が取り組むこと>

項目	内容
健康状態の確認	日々の健康状態を把握するとともに、風邪のような症状（咳、痰、鼻水、喉の痛み、だるさ、味覚不良等）が無いか確認する。異状がある場合職につかない。
検温	日々検温を行い 37.5 度C以上ある場合は業務につかない。
マスクの着用	マスクを正しく着用（鼻柱から下あごまですべて覆う。ノーズフィッターを使いマスクの上部を鼻と頬に密着させる。鼻出しはだめ。） マスクの代用として、フェイスシールドでもよい。 咳エチケットを徹底する。
手袋の着用と手洗いと消毒	手袋を着用し、こまめに正しい手洗いとアルコール消毒を行う。
追跡可能な記帳	当日の担当職員の業務内容の記帳
特定警戒都道府県及び県内感染警戒地域への移動	特定警戒都道府県及び県内感染警戒地域への移動は出来る限りしない。 やむをえない事情で移動する場合は出来る限り、3 密にならないようにする。感染予防対策をしながら移動する。

#### <観光客の方に取組んでいただくこと>

項目	内容
検温	当地域来訪前に検温を行い 37.5 度C以上ある場合は利用（来訪）をご遠慮いただく。
健康状態の確認	風邪のような症状（咳、痰、鼻水、喉の痛み、だるさ、味覚不良等）が見られる方は利用（来訪）をご遠慮いただく。
マスクの着用	マスクを正しく着用（鼻柱から下あごまですべて覆う。ノーズフィッターを使いマスクの上部を鼻と頬に密着させる。鼻出しはだめ。） 咳エチケットを徹底する。 （ possible の限り当日のマスク着用を事前に依頼しておく。）
手洗いと消毒	こまめに正しい手洗いとアルコール消毒を行っていただく。
情報の提供	新型コロナウイルス感染症発生防止に対する健康状態等の情報と発生時の追跡可能な連絡先等の情報の提供に協力いただく。 （チェックリストの記入）
特定警戒都道府県及び県内感染警戒地域への移動	特定警戒都道府県及び県内感染警戒レベル 3 地域にお住まいの方は来訪をご遠慮いただく。

## (2) 「収穫体験」における感染予防対策

### <桃狩り編>

場面	予防策	内容
事前	使用備品及び共有部分の消毒	使用備品及び共用部分（手洗いの蛇口・三脚）については体験受け入れ前に消毒を行う。
	収穫用の容器関係	準備段階に手袋着用と消毒を行い、セットする。
受付時	飛沫防止パネルの設置	受付テーブルに飛沫防止のビニール幕など設置し対応する。 風が強いなどで設置できない場合はフェイスシールドの着用とする。
	ソーシャルディスタンスの確保	受付は代表者のみで行っていただき、お客様同士の間隔を保って並んで頂く。
	健康状態の確認	・チェックリストに必要事項（日付・時間・参加者氏名・体調不良の有無・体温等）を記入していただく。 ・参加者全員を非接触体温計にて検温し、37.5 度C以上の方はご案内しない。 ※ツアーの団体客は食べ放題入場前に検温する。
収穫時	手袋とマスクの着用	手袋とマスクの着用をしていただく。（口や鼻に触れた手で収穫以外の実や備品に触れないよう依頼する。） ただし、手袋は収穫する桃のみ触る場合はしなくても良い
	ソーシャルディスタンスの確保	適度な間隔を保って頂きながら、収穫していただく。 桃の木に割り当てるお客様の人数によっては人数制限を行う。 ※家族や常に一緒にいる方々はソーシャルディスタンスの確保はしなくてよい。
	収穫案内	桃園での収穫案内は大声を出して行わない。拡声器や音声ガイド（CDなど利用）により行うことが好ましい。
事後	使用備品及び共有部分の消毒	使用備品及び共用部分（手洗いの蛇口・三脚）については次の体験受け入れ前に消毒を行う。

### <桃食べ放題編>

場面	予防策	内容
事前	従業員の手指の消毒とマスク	作業前にマスクと手袋の着用とアルコール消毒をこまめに実施。
	使用備品及び共有部分の洗浄と消毒	使用備品及び共用部分（ボール・ナイフ・テーブル・桃洗いの蛇口等）については体験受け入れ前に洗浄・消毒を行う。
	食べ放題の容器セット	配置前に手袋着用とアルコール消毒を行ってからセットする。
入場時	健康状態の確認（団体客のみ）	ツアーバス参加者全員を非接触体温計にて検温し、37.5 度C以上の方はご案内しない。 （一般の方は受付時）
	手指の消毒	アルコール消毒をしてから会場へ入っていただく。
	マスクの着用	食べ放題の指定テーブルまでマスクの着用をお願いする。

場 面	予 防 策	内 容
食 べ 放 題 時	ソーシャル ディスタンスの 確保	食べる時は適度な間隔を取って食べて頂く。 団体客の場合、テーブルを2名で使用して間隔を確保する。 家族や常に一緒にいる方々はソーシャルディスタンスの確保はしなくてよい。
	桃残渣	皮や種は使用しているテーブルごとに食べ終わったらバケツに入れていただく。
	桃の取扱	最初に食べる桃はあらかじめボールに入れておく。次の桃に挑戦する時は、密にならないように配慮しながら取りに行ってもらおう。 自分の食べる桃以外は触らないように願う。
	桃洗い場	桃を洗うシンクは限られているので、密にならないように使用していただく。いつでも消毒や手洗いができるようアルコール消毒液又は洗剤を設置する。
	子供さんの扱い	小さなお子様は食べ終わると飛び回ることが多いので、感染リスクが高まる事を考慮し、親に子供が移動しないよう注意を呼びかける。
	使用済備品	使用済のボールやナイフは所定の入れ物へお客様に入れていただく。 家族毎・団体毎に場所や入れ物は指示する。
事 後	使用済備品回収	使用済みのボールやナイフの回収を行う場合、手袋を着用して回収するとともに手指の洗浄や消毒をしないうちは口や鼻に触らない。
	会場の洗浄と消毒	使用毎に机やシンクなどの洗浄と消毒を実施する。 乾燥しないとアルコール消毒は効かないので、場合によって次亜塩素酸ナトリウム液を含むタオルで拭く。机の使用は1回休みで使用する事も考える。
	桃の残渣回収と処理	桃の残渣は感染リスクの高いものなので、従業員は取り扱いには注意して扱う。 専用の容器に入れ、入れ終わったら蓋をしておく。 廃棄する場合、土に埋めるか燃えるごみとして処理する。
	使用済備品の洗浄と消毒	使用したものは洗浄と消毒（次亜塩素酸ナトリウムなど）を行い、乾燥させる。 洗浄する者はゴム手袋を着け、感染リスクを減らす。